

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	29,676	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	384	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4.13	時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々々年度（令和5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	21,685,109	円	利用者に支払った賃金総額	20,143,153	円
			収支	1,541,956	円
前々年度（令和6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	39,453,057	円	利用者に支払った賃金総額	35,790,409	円
			収支	3,662,648	円
前年度（令和7年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	38,795,671	円	利用者に支払った賃金総額	37,328,796	円
			収支	1,466,875	円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律			
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	◎利用者を職員として登用する制度を定めている	在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律に関する制度を定めている			
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項				
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている				
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている			
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	※研修、学会等名 <small>第9回就労継続支援A型事業所オンライン発表会</small>	※先進的事業者名			
※研修名 <small>福祉職場で働く新人職員のためのパワーアップ研修</small>	実施日 11月27日	実施日/参加者数 月 日 人			
研修講師 橋本有理子・西川友理	※学会誌等名	※他の事業所名			
実施日・受講者数 2月16日 1人	掲載日 月 日	実施日/参加者数 月 日 人			
	発表テーマ <small>私たちがつくる笑顔とベクトル購買のものづくり</small>				
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアサポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	◎職員の人事評価制度を整備している	◎ピアサポーターを配置している			
※商談会等名	◎当該人事評価制度を周知している	◎当該ピアサポーターは「障害者77枠」研修を受講している			
主催者名 <small>テレビ大阪・ATC</small>	人事評価制度の制定日 4年3月1日	※配置期間 4月1日～8月31日			
日時 12月21～22日	人事評価制度の対象職員数 4名	就業時間 9:00から18:00			
内容 <small>OSAKAアート&でづくりバザール</small>	うち昇給・昇格を行った者 4名	職務内容			
	当該人事評価制度の周知方法				
⑦第三者評価	⑨国際標準化規格が定めた規格等の認証等				
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている				
※評価を受けた日 月 日	※認証を受けた日 月 日				
第三者評価機関	規格等の内容				
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。